

# AWS環境でのバックアップ／リカバリ／災害対策、 シンプル／確実／高速なデータ保護を構成



EC2



EBS



RDS/Aurora



Redshift

クラウド

プロテクション

マネージャー

## CPM - Cloud Protection Manager

RPO

0

5

0

0

minutes

seconds

5分間隔で増分バックアップ

RTO

0

0

3

0

minutes

seconds

30秒以内に全データを復旧

### AWS上のデータ保護で、お困りではありませんか？

増加するインスタンスをスクリプトで保護？

GUIから簡単にバックアップをスケジュール

高度な世代管理を自身で作り込みますか？

ポリシーベースで世代管理も楽々設定

コンプライアンスを本当に守れていますか？

レポート・アラート・監査証跡で適切な監視

アプリケーションの整合性、取れていますか？

Pre/PostスクリプトとMicrosoft VSS連携

災害対策DRまで意識できていますか？

クロスリージョン/アカウントで遠隔地保管

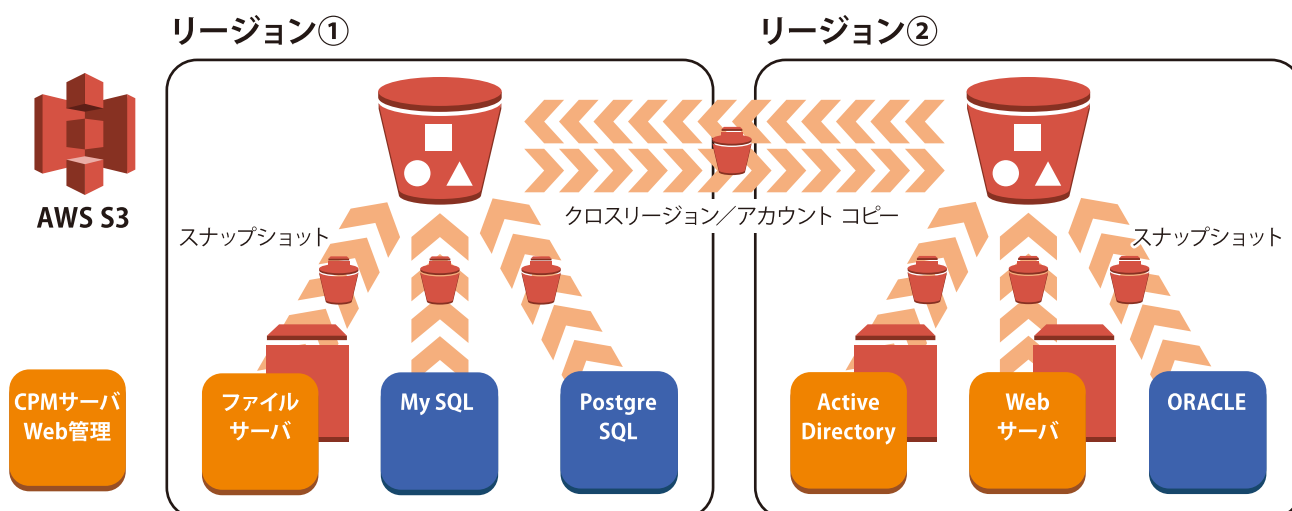
マルチテナントでも利用できますか？

セルフサービス機能で管理分散も可能

### バックアップ／災害対策の課題を、まるっと解決

AWS上に移行、作成した各種アプリケーションやシステム、それを構成するEC2インスタンスやRDS/Aurora、Redshiftといったデータベース、これらをどのように保護していますか？

増え続けるインスタンスをAWSコンソールやスクリプトで管理するには限界があります。N2WS CPMを用いれば数百を超えるインスタンスであってもCPMサーバのWeb GUIにアクセスし、バックアップや災害対策を自動化できます。





## 柔軟で確実なバックアップ

### ブロックレベルの永久増分スナップショット

AWSネイティブのスナップショットを、活用、改善、強化し、変更されたディスクブロックのみの効率的なバックアップを提供します。

### アプリケーション整合性のあるオンラインバックアップ

Pre/PostスクリプトとMicrosoft VSS連携でMySQLやMongoDB、Oracle、PostgreSQL、SQL Server、Exchange、Active Directory、SharePointなどのオンラインバックアップにも対応します。

### ポリシーベースのバックアップ

ポリシーベースの設定で、数分〜数か月の間隔でスケジュール、保持期間を指定し、柔軟なRPO(目標復旧地点)を提供します。



## 高速で簡単なリストア

### 手間のかかるリストアを数秒に短縮

Webコンソールから、ワンステップでリストア実施、サーバ/インスタンス全体、特定のボリューム、個々のファイルを30秒以内に復旧可能です。

### ファイルレベルリストア

インスタンス全体の復元や、ボリュームの手動マウントなしで、CPMのWebコンソールからリストアポイントを指定して、ファイルとフォルダを参照、ダウンロード可能です。



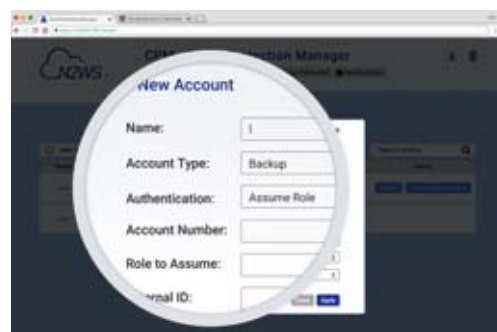
## コンプライアンス準拠とセキュリティ標準

### IAMユーザとロール、マルチテナントサポート

CPMはマルチテナント用に設計されており、複数のAWSアカウントを単一のコンソールから保護可能です。IAM資格情報と同様に、クロスアカウントのフェデレーションとアクセスを保護するためのIAMの役割をサポートします。

### アラート、レポート、監査追跡

Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) でのアラート通知とRESTful APIによるサードパーティ 監視ソリューションとの統合が可能です。データ保護状況や各ユーザの操作ログレポートも出力できます



## 災害対策DR

### スナップショットの保管庫を提供

スナップショットの削除や消失を防ぐためにインスタンス全体を他のAWSアカウントまたはリージョンに複製するようポリシーで設定できます。ワンクリックでシステムのインスタンス、ボリュームをAWSアカウントに復元し、本番用としてすべてのデータに、30秒以内でアクセスできます。



## バックアップがなぜ必要か？責任共有モデル

お客様	お客様のデータ			
	プラットフォーム、アプリケーション、Identity & Access Management (IAM)			
	オペレーティングシステム、ネットワーク、ファイアウォール構成			
クラウド"内の"セキュリティに責任がある	<table border="1"> <tr> <td>クライアント側のデータ暗号化とデータ整合性の認証</td> <td>サーバー側の暗号化 (ファイルシステムまたはデータ(またはその両方))</td> <td>ネットワークトラフィックの保護(暗号化/適合性/アイデンティティ)</td> </tr> </table>	クライアント側のデータ暗号化とデータ整合性の認証	サーバー側の暗号化 (ファイルシステムまたはデータ(またはその両方))	ネットワークトラフィックの保護(暗号化/適合性/アイデンティティ)
クライアント側のデータ暗号化とデータ整合性の認証	サーバー側の暗号化 (ファイルシステムまたはデータ(またはその両方))	ネットワークトラフィックの保護(暗号化/適合性/アイデンティティ)		

AWS	クラウド"の"セキュリティに責任がある	<table border="1"> <tr> <td>コンピューティング</td> <td>ストレージ</td> <td>データベース</td> <td>ネットワーク</td> </tr> <tr> <td colspan="2">AWSグローバルインフラストラクチャ</td> <td>リージョン</td> <td>エッジロケーション</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>アベイラビリティゾーン</td> <td></td> </tr> </table>	コンピューティング	ストレージ	データベース	ネットワーク	AWSグローバルインフラストラクチャ		リージョン	エッジロケーション			アベイラビリティゾーン	
	コンピューティング	ストレージ	データベース	ネットワーク										
	AWSグローバルインフラストラクチャ		リージョン	エッジロケーション										
		アベイラビリティゾーン												

共有モデルでAWSは、AWSクラウドで提供されるすべてのサービスを実行するインフラストラクチャの保護に責任を負います。しかし、その上で動作するデータやアプリケーションなどの保護はお客様の責任となり、そのためにはバックアップを構成することが必須です。N2WS CPMを使用すれば、この保護構成を、より簡単、確実に実施できます。

